

○●横浜市医療安全メールマガジン<第183号>●○  
～医療安全課からのお知らせ～

---

医療安全メルマガは、患者と医療機関のコミュニケーションギャップを埋めるヒントを発信中！  
医療機関へのお役立ち情報やお知らせも発信

---

■令和6年度第1回横浜市医療安全研修会開催のお知らせ■

医療安全支援センターでは、安全な医療の実現に向け、例年研修会を開催しております。

今年度は、現地開催形式と横浜市医療局医療安全課Youtubeチャンネルでの動画配信を活用したオンライン形式の2通りの方法で開催いたします。

現地開催日時：8月1日（木）19時～20時（受付開始18時30分）

場所：横浜市社会福祉センター

動画公開期間：2024年8月下旬～2024年10月31日（火）

講演内容：「これで解決！医療クレーム対応・発展編～事例から身につけるペイシェントハラスメントへの対応術～」

講師：株式会社ウィ・キャン代表取締役  
濱川 博招 氏

対象者：横浜市内の医療提供施設の医療関係者

※申込方法やその他詳細については、こちら

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/iryoanzen/kenshukai.html>

（横浜市ホームページより）

■講習会のお知らせ■

厚生労働省主催の「令和6年度院内感染対策講習会」が実施されます。

詳細は、厚生労働省ホームページでご確認ください。

（講習会の区分により、対象者や申し込み先が異なりますので、ご注意ください。）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_21747.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21747.html)（厚生労働省ホームページ 院内感染対策について）

■熱中症対策についてのお知らせ■

暑さになれないなかで熱中症患者の受診・救急搬送の増加が予想されています。

市内の熱中症救急搬送状況（日報）はこちら

<https://www.city.yokohama.lg.jp/bousai-kyukyu-bohan/kyukyu/heatstroke/statistics.html>

患者への対応でお忙しいとは思いますが、ご自身の体調管理も含め、医療機関の体制整備に努めていただければと思います。

■バックナンバーはこちらから

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/iryoanzen/iryoanzenml.html>

■解除・変更：下記URLから、メールマガジンの解除又は変更手続きができます。

<http://ml.city.yokohama.lg.jp/mailman/listinfo/anzenchan>

■発行：横浜市医療安全支援センター（横浜市医療局健康安全部医療安全課）

Copyrights(C) 2008 City of yokohama. All rights reserved.

○●横浜市医療安全メールマガジン<第184号>●○  
★今月のテーマ★  
～若年層のオーバードーズ（OD）を防ぐために～

---

医療安全メルマガは、患者と医療機関のコミュニケーションギャップを埋めるヒントを発信中！  
医療機関へのお役立ち情報やお知らせも発信

---

■オーバードーズ（OD）による救急搬送は年間1万件以上！■

みなさんは、オーバードーズ（以下ODと記載）についてご存じですか？  
ODとは、医薬品を過量に摂取する行為のことです。  
ODが原因と疑われる救急搬送数は年々増加傾向にあり、特に10～20代の若者に広がっています。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/001179901.pdf>  
（厚生労働省 第11回医薬品の販売制度に関する検討会 医薬品の過剰摂取が原因と疑われる救急搬送人員の調査結果）

また、市販薬については、若者を中心に依存症となる患者が急増しています。令和4年度厚生労働省の調査「薬物使用と生活に関する全国高校生調査2021」によりますと、高校生の約60人に1人が過去1年以内に市販薬の濫用があるとのことでした。

ODなどの濫用を減らすためには、起点となりうる医薬品販売時の薬局等の役割が重要です。  
そこで、次号以降は、指定医薬品やその販売時の対応についてお伝えします。

■バックナンバーはこちらから

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/iryoanzen/iryoanzenml.html>

■解除・変更：下記URLから、メールマガジンの解除又は変更手続きができます。

<http://ml.city.yokohama.lg.jp/mailman/listinfo/anzenchan>

■発行：横浜市医療安全支援センター（横浜市医療局健康安全部医療安全課）

Copyrights(C) 2008 City of yokohama. All rights reserved.

○●横浜市医療安全メールマガジン<第185号>●○  
★今月のテーマ★  
～若年層のオーバードーズ（OD）を防ぐために～

---

医療安全メルマガは、患者と医療機関のコミュニケーションギャップを埋めるヒントを発信中！  
医療機関へのお役立ち情報やお知らせも発信

---

■ODの対象となりうる指定医薬品■

令和5年4月1日時点において、厚生労働省では「濫用等のおそれのある医薬品」として以下の6成分を指定しています。

- ・エフェドリン
- ・コデイン
- ・ジヒドロコデイン

- ・プロモバレリル尿素
- ・プソイドエフェドリン
- ・メチルエフェドリン

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/tsuchi-renraku/yakumu-jouhou/yakumu-tsuuchi2022.files/20230208\\_01.pdf](https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/tsuchi-renraku/yakumu-jouhou/yakumu-tsuuchi2022.files/20230208_01.pdf)  
(令和5年2月8日薬生発0208第1号厚生労働省医薬・生活衛生局長通知)

指定医薬品の販売に際しては、薬剤師や登録販売者が必要な確認や情報提供を行うことが求められています。また、指定医薬品以外の市販薬の販売等の際も、依存が疑われる場合にあつては、購入者に対し、必要な情報提供や確認を行う等、適切に対応する必要があります。

次号では、指定医薬品の販売時の対応をお伝えします。

■バックナンバーはこちらから

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/iryoanzen/iryoanzenml.html>

■解除・変更：下記URLから、メールマガジンの解除又は変更手続きができます。

<http://ml.city.yokohama.lg.jp/mailman/listinfo/anzenchan>

■発行：横浜市医療安全支援センター（横浜市医療局健康安全部医療安全課）

Copyrights(C) 2008 City of yokohama. All rights reserved.

○●横浜市医療安全メールマガジン<第186号>●○

★今月のテーマ★

～若年層のオーバードーズ（OD）を防ぐために～

---

医療安全メルマガは、患者と医療機関のコミュニケーションギャップを埋めるヒントを発信中！  
医療機関へのお役立ち情報やお知らせも発信

---

■市販薬のODを減らすために■

指定医薬品を薬局等において販売等する際の注意点を以下に簡潔に記してありますので、販売する場合はご注意ください。

①購入者が高校生、中学生等である場合は、その氏名や年齢を確認するとともに使用状況を確認すること

②購入者が同じ医薬品を他店で買っていないか、すでに所持していないか等を確認すること

③原則一人1包装。複数の購入希望があつた場合に理由・使用状況などを確認して、支障ない場合に限り販売等が可能

④その他当該医薬品の適正な使用を目的とする購入・譲受けであることを確認するために必要な事項を確認すること

市販薬販売のフロントラインにいる薬剤師や登録販売者の方は、ODのゲートキーパーになることが今後期待されています。

市販薬の濫用に悩む方やそのご家族の方等から相談があつた場合には相談窓口につなげる等ご対応ください。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/other/madoguchi.html>

(参考)厚生労働省ホームページ

その他に、次の事務連絡には各店舗の具体的な取り組み事例等も紹介されていますので、参考にしてください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/>

tsuchi-renraku/yakumu-jouhou/yakumu2020.files/20200911.pdf

(令和2年9月11日事務連絡「「濫用等のおそれのある医薬品」の適正販売に向けた販売者向けのガイドラインと関係団体等に向けた提言」について)

また、厚生労働省作成のポスターも薬局等店舗へ掲示するなど濫用防止にご活用ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/001075650.pdf>

(参考) 厚生労働省ホームページ

★編集後記★

今月は市販薬のODIについてお伝えしました。

市民の皆様が健康で過ごせるよう、今後とも医療安全に努めていきましょう。

■バックナンバーはこちらから

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/iryoanzen/iryoanzenml.html>

■解除・変更：下記URLから、メールマガジンの解除又は変更手続きができます。

<http://ml.city.yokohama.lg.jp/mailman/listinfo/anzenchan>

■発行：横浜市医療安全支援センター（横浜市医療局健康安全部医療安全課）

Copyrights (C) 2008 City of yokohama. All rights reserved.

○●横浜市医療安全メールマガジン<第187号>●○

～医療局医療安全課からのお知らせ～

---

医療安全メルマガは、患者と医療機関のコミュニケーションギャップを埋めるヒントを発信中！

医療機関へのお役立ち情報やお知らせも発信

---

★今月のテーマ★

■令和6年度第1回横浜市病院安全管理者会議のお知らせ■

横浜市では毎年約2回、市内病院に勤務している医療従事者を対象に横浜市病院安全管理者会議を開催しております。

今年度第1回となる今回は、「TeamSTEPPS研修」をテーマとし集合形式にて開催いたします。

TeamSTEPPSは医療の成果と安全を高めるための良好なチームワークを作りあげることを目的とした医療機関向けのチームトレーニングプログラムです。

ぜひ、この機会にTeamSTEPPSを学んでみませんか？

日時：令和6年9月18日（水）18：00～20：00（受付開始 17：45）

会場：横浜市庁舎1階 アトリウム横 スペースA・B

内容：TeamSTEPPS研修

「コロナ禍明けて取り組もう“TeamSTEPPS”～初めて学ぶ人も復習したい人も～」

講師：横浜市立大学附属病院 医療の質・安全管理部部長

菊地 龍明 先生

申込期間：2024年8月1日～8月15日19時

申込方法やその他詳細については、横浜市ホームページをご確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/imuyaku/sonota/anzenkanrishakaigi.html>

■バックナンバーはこちらから

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/anzenshien/iryoanzen/iryoanzenml.html>

■解除・変更：下記URLから、メールマガジンの解除又は変更手続きができます。

<http://ml.city.yokohama.lg.jp/mailman/listinfo/anzenchan>

■発行：横浜市医療安全支援センター（横浜市医療局健康安全部医療安全課）

Copyrights(C) 2008 City of yokohama. All rights reserved.